

【がん種】	アミロイドーシス
【レジメン名】	DCyBorD①1～2コース目
【登録番号】	800001
【1コースの期間】	4週間
【投与間隔調整規定】	－1日
【総コース数】	2コースまで(忍容性があればDCyBorD②3～6コース目を施行する)
【催吐性リスク】	中等度:エンドキサン、最小度:ダラキューロ, ベルケイド
【抗がん剤の組織障害性】	イリタント(炎症性):ベルケイド、ノンビシカント(非壊死性):ダラキューロ
【投与量に制限のある薬剤】	エンドキサン:1回に500mg/bodyまで
【主な有害事象】	白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、高血糖、発熱、注入に伴う反応、疲労、傾眠、不眠、間質性肺炎、心不全、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚不全、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、脱毛、湿疹、帯状疱疹、注射部位反応、出血性膀胱炎
【必要な検査】	一般採血、間質性肺炎の確認、治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。
【根拠論文】	N Engl J Med 385:46-58, 2021.
【点滴の時間】	－
【その他】	ダラキューロ:治療開始前に間接クームス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日														
					1	2	...	8	9	...	15	16	...	22	23	...	28		
1	アシクロビル錠 200mg	2 錠/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	レスタミン錠 10mg アセトアミノフェン錠 200mg デカドロン錠 4mg	5 錠/回 4 錠/回 5 錠/回	内服	1日1回 ダラキューロ投与1時間前	○			○			○			○			○		
3	ダラキューロ配合皮下注射 臍から左 or 右に約7.5cmの腹部	1 本 調製開始から4時間以内に投与終了	皮下注	23～25Gの針 3～5分	○			○			○			○			○		
4	生理食塩液 20mL ベルケイド注射用 調製開始から8時間以内に投与終了	1 A 1.3 mg/m ²	皮下注	2.5mg/mLの濃度に調製 27Gの針 腹部、大腿部	○			○			○			○			○		
5	カイトリル錠 2mg	1 錠/回	内服	1日1回夕食前	○			○			○			○			○		
6	エンドキサン錠	300 mg/m ² /日	内服	1日1回夕食後	○			○			○			○			○		
7	デカドロン錠 4mg	5 錠/回	内服	1日1回朝食後		○			○			○					○		